

VVN 第10回研修会「スタジアムでの手話について」

日時: 2003年5月18日(日) 13:30 ~ 15:00

場所: セルバ 5F セルバホール

講師: 阿部 清人 氏 (FMいずみアナウンサー)



**講師紹介 阿部 清人さん**

ベガルタの番組をもち地元のために  
熱く応援してくれるFMいずみのアナウ  
ンサー、サッカー関連のイベントにも  
手弁当で参加してくれる頼もしい方だ  
る。



### 【 自己紹介と手話について 】

こんにちは、先週(の放送で)は体調を崩しててひどい声でみなさんにご迷惑をおかけしました。今朝治しました。さきほど、ホテルで神前結婚式の司式をしてきました。

最初にFMいずみの話をさせてください。名古屋戦をFMいずみでも中継します。今、局には誰もいません。いませんが、中継はできます。私は、生まれが石巻で、仙台に移ってきて、泉に住んで今年で20年になります。小学校6年生の男の子と、小学校3年生の女の子がいます。お手元の自己紹介をご覧ください。私は左耳が聞こえません。見て分からないと思いますが、11歳の時に突発性難聴になりまして、高校の時、左耳が聞こえなくなりました。片耳が聞こえないと、目をつむった時、どこで音が鳴っているかわかりません。救急車の音もどこからかわかりません。(ですから)人と歩く時には、その人の左にまわって歩くようにしています。

耳の不自由な方は、増えています。最近テレビで話しているひとの言葉をテロップで流していますね。これは、聞き取りづらい、また発言者の発音が不明瞭なために視聴者からの意見でつけています。私も、呼びかけられても気が付かなくて、無視する時があります。特に雑踏の中では聞こえづらいです。片耳が聞こえないだけでも結構不便なのに、両耳が聞こえない方はもっと不便だろうと思い、学生時代に宮城県が主催する初級手話講座に通いまして、その後、宮城ひまわりの会というサークルに入りまして手話の勉強をしました。そのサークルで今の妻と出会いました。FMいずみのホームページを見ていただくと、私の特技のところに「手話」と書いてあります。ラジオ局のアナウンサーに手話はおやっと思いますが、FMいずみはラジオ以外にイベントの仕事をしています。私の仕事の一つに、子供向けの「実験ショー」があります。子どもたちに科学の面白さを伝えます。そこで、ハイパーペーパーブーメラン・紙のブーメランを飛ばしたりします。(実際に会場で披露しうけ)

### 【 コミュニティFMの現状について 】

コミュニティエリアというのは、県単位でしか放送の許可は下りないのですが、それを規制緩和で市町村ごとにして免許をだそうというものです。それによって(今までは)電波の使われ方がマスメディアとして大きい部分で使われていましたが、もうちょっと小さい単位で使っていくということです。私達が、情報を伝える時にどんな手段を使うでしょうか。新聞だったり、回覧板だったり、掲示板に貼ったり、今はインターネットもありますが、なかなか電波を使って伝えようという発想にはなりません。細かい話は取り上げてもらえない、商業的な話ですとお金がかかります。デイトFMを例にとりますと、20秒単位で15,000円くらいです。本数が増えると少し安くなりますが、それでも、八百屋さんが出そうとするとなかなか大変です。で、コミュニティ放送の場合は、20秒CMの場合は3,000円です。本数によっては数百円になることもあります。アメリカの場合はカレッジラジオといって、大学ごとにラジオ局があります。決まった時間を放送して、学生向けに流しています。地域の方もそれを活用しています。

コミュニティラジオが始まって10年になります、ようやく身近にラジオを使おうという気持ちが浸透し始めたと思います。平成7年の阪神淡路大震災の折に、ラジオ局が兵庫県庁の屋上に臨時に作られまして、地域の細かい放送を流しました。コインランドリーの開く時間や、銭湯の営業時間、給水車の経路などです。これを県域の範囲でやると広すぎます。これをコミュニティラジオを使って流して、非常に役にたったそうです。今、全国に150くらいの放送局があります。FMいずみは開局が2000年3月10日でした。株主は主婦もいれば会社員もいます、しがらみがありません。運営はCM収入です。放送を支えるためにイベントをやっています。みなさまのお陰でようやく営業収入がよくなりました。1995年に始まりました、いずみコミュニティ放送推進協議会は市民団体です。2百数十名います、新しく加わった人や去っていった人もいます。多くの方のご苦勞があったと思います。出力20Wというのは上限を法律で決められています。最初は1Wでした、少しずつ増えてこうりましたが、逆にデイトFMさんと競合して聴取率が下がることもあります。デイトFMさんは5KWですが、白石方面には電波が届かないのでサテライトを置いています。それが、10Wですので、それよりも大きいのです。エリア内126,000世帯でこれは、泉区の95%、青葉区の10%、宮城野区の30%、富谷町、大和町の一部です。電波障害で届かないところもあります。つらいところですよ。アンテナを立てると違います。有線放送でも流しています。実況中継をお聞きになりたい方は、ご利用ください。送信所は将監にあります。北は三本木町です。距離より障害物が問題なので、宮城蔵王では聞こえています。

放送は24時間です。70名くらいのボランティアが番組制作にかかわっています。市民の方が、放送劇を自

主的に制作しています。目的が一致する人にボランティアをお願いしています。一つは、「やってみたい人」、「やることでスキルアップできる人」、「収入を期待する人」これ以外の人は、遊び半分の人、FM いずみにつくしたい人は遠慮いただいています。今のところ、皆さん楽しく笑顔で活動しています。夜の 11 時半からの番組は、宮城大学のベンチャーサークルの学生、卒業生が作っています。水曜日は、未就学児のお子さんを持つお母さん方も番組を作っています。東京から衛星中継を使っての生番組もやっています。カーサベガルタのサテライトスタジオからも生放送をしています。変わったものとしては、木曜夜、オカマさん三人の番組をしています。(笑)

日曜にベガルタ関係の番組をやっています。選手の単独インタビューをやっています。私の番組は試合中心です。試合が終わると選手にインタビューします。そこから編集して、他の局のアナウンサーの声を全部消します。某局のアナウンサーなんか、いっぱい声が入っているので消すのが大変です(笑)。一言聞くと長く話してくれる選手、森保選手なんかはいいのですが、ボソッとしゃべる選手、山下選手などは細かく質問しますので、編集に時間がかかります。当日の番組でインタビューが流れない時には、編集が間に合わないと思ってください。昔は、高橋則夫選手など話してくれてありがたかったです。テルについては、取材場所で話しながらないです。直接バスに向かうので、取材場所を限られている我々は、追っかけて行ってそこでインタビューしようとする、東北ハンドレッドのかたが、「そこで撮らないでください」と注意されます(笑)。静かにこちらに来てもらって話します(笑)。いろんな苦労がありますが、また別の機会に話します。夕方のベガルタ情報のコーナーで、今日の練習の様子とか、最新の情報を流しています。6 時からやっていますが、4 月からラジオ3が、5 時50分からやりだしました。

コミュニティ放送は横のつながりがとてもあります。今度のキエーボ戦も中継をします。FM いずみの社長は、ブランメル時代から後援会の運営委員としてやってきたものです。社長の方針もあって、地元局としてベガルタを全面的に取り上げるようになりました。Jリーグの理念の中にも地元重視の言葉があります、他のチームも地元の放送局と仲がいいです。札幌では「炎のサポーター」という番組があります。私は、ブランメル時代は知りませんでした。今は違う仕事をしていて、その仕事を通じて間接的に知っていました。この仕事をするようになって、すっかりベガルタにハマりました。家族もハマっています。森勇介のファンです。森が解雇されたとき、サポーター集会がありまして私も取材に行きましたら、フロントに向かって妻が発言していました(笑)。他人の振りをしましたが、それくらいあついサポーターです。

#### 【 手話について 】

では、手話の話をしましょう。

聞こえないというのは、どういうことかと申しますと、聾啞者の、「聾」は聞こえない、「啞」はしゃべれない事です。啞者は声を出せないのではなく、聞こえないからしゃべれないのです。9歳までに聴力のあった子どもは普通に話せます。9歳前に聴覚を失った方は話せないらしいです。多くの方は、先天的に耳が聞こえない方だったり、薬害で聴力がなくなった方も多いです。沖縄では、20数年前に風疹が流行りまして、それで聾啞者が多いです。手話は、数年前まで聾学校では使ってはいけませんでした。理由は口話を覚えるためです。口の形で話していることを読み取ることを、文部省のほうで勤めていたからです。先生も手話を使わない、生徒も使ってはいけません、というものでしたが、数年前にがらりと方針が変わりました。今は、先生も生徒も使っています。手話は、今は全部共通です。昔は、地域ごとにばらばらでした。テレビができて丸山さんが、週に一回手話ニュースで出てから、テレビを通じて手話が共通化されました。「私たちの手話」という本があります。これを普及させることによって共通化を図りました。方言と同じで絶対的な手話はありません。

各国ごとに、手話は違います。日本語の文法が違うように、アメリカでは、I love you のことばの順番に手話をいたします。日本では、日本語に合わせて使います。話しながら手話をする場合にはその順番ですが、人が話しているのを側で手話で通訳する場合は、順番を変えます。通訳者は、頭の中で文法をどう使うと間違いなく伝えられるかを考えながら通訳します。「日米安保条約」の場合、軍事の条約か、平和の条約か解釈をしっかりと持たないとなりません(手話を交えながら説明)。手話の技術だけではなくて言葉をわかっていなければなりません。

常勤では仙台市に二人、県に一人います。非常勤がほとんどです。仕事としては、手話通訳だけで生活はでき

ません。その理由は、コミュニケーションが成り立たないということが、いかに人間としての尊厳や人権を損ねるかということを理解されてなかったからです。例えば、皆さんが明日耳が聞こえなくなった場合、また皆さんの愛する人が耳が聞こえなくなった場合、どうすればいいでしょうか。昼食を皆で食べに行った場合、周りがわぁーと盛り上がっていてもひとりで黙々と食べてしまいます。孤立しますよね。聾学校を卒業して仕事についても、すぐにコミュニケーションが取れなくて辞めてしまいます。健常者でも会社を辞める理由のほとんどが人間関係なんです。聴覚障害者が疎外感を味わうのは、人間関係です。フォローしていかなければなりません。差別があります。差別があるのは偏見があるからです。どうして偏見があるかという誤解があるからです。誤解は無知から生れます。聴覚障害者は、話せないことから知能が低く見られます。手話で話していることが幼稚に見えます。しかし、聴覚障害者の中には、弁護士もいます。医師には法律でなれません。アメリカでは、電話交換士以外はなれるといわれています。日本はまだまだです。準禁治産者ということで、昔は財産も譲れません。そういう差別がありました。それは、聴覚障害者のことを正しく理解されてなかったからです。

手話の広がりについてですが、テレビドラマの「名もなく貧しく美しく」というドラマをご存知ですか。30年くらい前のドラマです。それは聴覚障害者を描いたドラマです。しかし、地域によっては手話を健常者に教えませんでした。「だます人がいるから」というのが理由です。昔の聾啞協会はガードがきつくて、健常者と一緒になにかやりましたよということはありませんでした。今とはとても違います。

聴覚障害者とのコミュニケーションのとり方ですが、まず、手話が分からなくて聞こえない方がいらした場合は、(結構スタジアムにも来ておられますね。)まず一番簡単なのは筆談です。ペンがない場合はそら文字です。二本の指で宙にひらがなを描きます。一文字一文字書きますから時間がかかります。筆談、そら文字、そして手話です。手話は単語になります。単語でないもの、わからないもの、固有名詞は指文字で使います(実技あり)。それと同じくらい大事なのが口話、口の形です。大きく口を開けると、聾学校で訓練を受けていますので聞こえます。それが続くと疲れてしまいます。あと、口の形が同じ単語、「たまご」と「たばこ」ですね。万全ではありません。同じ形の手話でも違うことばの時があります。その時には、口の形で区別します。手話をする時は口も動かします。口を動かさないと気持ち悪くなります。

#### 【 手話の実技 】

では、挨拶からです。恥ずかしがらずにやってください。さきほどのそら文字は自分の方からみて書いていいですから。親切な場合は壁に書いてください。では、「こんにちは」(実技しながら)。これは、人と人が頭を下げている状態です。無表情にやっても挨拶になりませんので、自分もあいさつをしながらやってください。人と人がいきなり会って手話をしなくてもわかることだと思います。今度は手話の組み合わせになります。「おはよう」は「朝」枕をはずす意味がありますが、それに「こんにちは」を加えて、「おはようございます」の意味になります。これをやると「この人は手話ができるのだな、聴覚障害者に理解があるのだな」ということになりますから、挨拶は大事です。「こんばんは」は夜の挨拶です。「夜」(実技で示す)です、相手に手のひらを見せてください。「夜」と「こんにちは」です。「初めまして」は、「初めて」紙を掴む動作をして、「初めまして」(実技あり)。「ありがとう」はお相撲さんが手を出しますね、その形で、「ありがとう」です。「ごくろうさまです」というのは「骨折り」ですね。こぶしを作って手首をトントンとします。「ありがとう」と「ごくろうさま」の違いは、手のひらを広げているか、握っているかの違いです。自分でやっていて形ができるかどうかはわからないことがありますので、隣の方と挨拶をしてみてください。声を出しながらやってみてください。(実技)左利きの人は左ですかという質問がありました。見るほうはいずれなので、右手を使ってください。「すみません」は、眉間にしわをよせてください。では、私がやりますので、皆さん後についてやってください。「こんにちは」、「おはようございます」、「こんばんは」、「初めまして」、「ありがとうございます」、「すみません」、「ごくろうさまです」

次は、自分の気持ちを表すことばです。「わかります」は、「飲み込む」の態度です。手を首元において2度叩きます。感情を表すことばです。なので、「わかるわかる」の場合は、広げた手を首元から胸に下げます。うなづきながらやってください。「わからない」は「わかる」の反対ですので、肩のところで軽く手を2度あげます。「手話」は両手の人差し指を前で回転させます。「少し」は親指と人差し指ですきまを作ります。「手話が少しわかります」は、こうですね。「覚える」は「頭にしまう」で広げた手を頭に向けて握ります。「忘れる」はその逆ですね。手のひらは自分の方を向けてください。逆を向けないようにしてください(笑)。「難しい」は「ほっぺたをひねる」、「無理

です。「できません」も同じ形です。「できない」は両こぶしを前で上下に重ねてその後、両側に離します。「できる」は5本指をそろえて胸を2箇所指します。ブロックサインですね。「だめ」は親指をうえにして手を握り、その手を突き出します。両手でバツ印を作ってもいいです。ただし、スペシウム光線にならないように気をつけてください(笑)。「簡単です」は、人差し指を口に当てて、その後もう片方の手のひらを指します。「もう一度お願いします」は、ジェスチャーで、「1」を作って「お願いします」です。手話の「1」は、肩のところで横に1を作ります。「ゆっくりお願いします」は左側で、両手の親指と人差し指を重ねた後、その後半円を描きながら右側に持ってきます。ゆっくりですから、早くジェスチャーしないように気をつけてください。「質問があります」は、レポートを差し出す形を作ります。両手の親指と人差し指を前へ出します。「報告します」も同じです。「皆さんにお伝えします」は、「皆さん」と「報告します」です。テレビのCMで「電話する」シーンがありますね。親指と小指を立てて中3本を曲げて、耳の側でかくゆるする形です。「ケータイ電話」は、親指を折り曲げて、残りの4本は立てて耳の側に沿わせます。これは、ひらがなの「け」です。「ケータイ電話」の「け」を表します。「電話」と同じ形で「男と女」です。この形が前へ進む様子で「デート」、飛行機に乗る様子で「ハネムーン」、同じ形を下から口元へ向けて「生ビール」、生じゃなくてピンビールという方は、「瓶」です。栓を抜くしぐさです。「人々」は男と女が沢山いるので、両手で同じ形をしてください。同じ形で両手で大きな輪を描くと、「社会」です。これで20くらい覚ええましたね(笑)。今日やったことでは、会話はまだ成立しませんね。関心を持っていただくことです。会話は指文字を使ってください。ジェスチャーを使うと伝えやすいです

「仙台」は、三日月を頭に描きます。伊達政宗の意味ですね。「スタジアム」は、両手で人差し指と中指を半分折って、残りの指は全部折って、手前から向うへ円を描きます。この形は、人が「見ている」形です、それが「沢山」で、「スタジアム」です。「甲子園」は、漢字の「甲」の形に「スタジアム」ですね。手をまわすのは、どちらからでもわかるでしょう、「仙台スタジアム」です。「仙台」は親指と人差し指の2本を使って三日月を描いてください。「ボランティア」ですが、昔の形は、「骨折り」と「どうぞ」でした。労力を意味します。今は違います。「共に歩む」です。両手で歩いていく形です。「ベガルタ」というのはありません。聴覚障害者同士では使うかもしれませんが、通訳者が使って一般の聴覚障害者の方に通訳する場合はありません。例えば、「仙台対山形」の場合は、「三日月」と「さくらんぼ」、山形はさくらんぼです。「サポーター」は応援するひとなので、旗を振る形です。「サポートする」というのは、「後援する」「手伝う」形です。人を押しているのですね。相手に手伝って欲しい場合はこうです。私が手伝いたい場合は、こうです。(文字化を省略)「自由席」は、「席」はこうです、足を掛ける形です。「自由」は人が自由に動くので、「人」の形を回転させます、手前側から向こう側へ手を回転させます。その形に「席」で「自由席」です。「指定席」は決まった席です。「決まり」は手のひらを、2本指で叩きます、これで決まりです。決まった席で「指定席」です。「サッカー」は、片手でボールを作って他方の手の人差し指で蹴ります、これがサッカーです。「Jリーグ」ですが、アルファベットも指文字です。「J」は小指でJと書きます。「リーグ」は4本指で横、たてと書きます。リーグ表を書きますね、そのイメージです。「監督」は、いろいろみているという意味で目が動きます。両目を指して左右に動かします。「選手」は、片方の手の甲を叩いて他方の手の親指を前へ突き出します。「人」ですね。「ベテラン」が、手の甲をたたく形です、「ベテラン」「上手」の意味があります。その「人」ですので、足して「選手」です。「よい」は天狗の鼻です。こぶしを鼻に持っていきます。鼻を折ると「悪い」、「勝ち」は天狗の鼻のこぶしを移動します。「負ける」は「倒される」です。甲を相手に見せて両手を広げて手前に倒します。「引き分け」は「対等」の意味です。割り勘も同じ意味です。「トイレ」は、「WC」と表現します。片手の親指と人差し指で「C」を作り、残りの指を立てて、これで片手で「WC」となりますね。日常でも使います。ああ、そうですね、「ワールドカップ」ですね、でも使うのかな。(首をかしげる)「男性」「女性」は、「親指」、「小指」です。(笑)「ごみ」は臭いがします、鼻に手を持って行って鼻を掴むようにして、その後捨てる形です。「チケット」は手で四角を作るとわかりますね、でも手話では、両手のひらを前へ差し出して上下させます。「もぎり」はそのまま、ちぎる形をしてください。「売る」「買う」は、お金とものが行ったり来たりします。お金の形と手のひらをやりとりします。「救護」というのは、脈をとる形です。「救護室」は脈をとる部屋、4方が壁です。脈をとった女性を「看護婦さん」、「お医者さん」は、聴診する男性です。「忘れ物」は、「忘れました」に「もの」をします。お金の形を回転させると「もの」になります。「落し物」はものを「下」に捨てます。手話では、胸から上で形を作りますが、唯一下に手をやる形です。「地下鉄」は、平らな手の下をくぐる形です。「バス」は車体の形を作ります。

では、一通り続けますので、後からついてきてください。「仙台」、「仙台スタジアム」、「ボランティア」、「サポーター」、「自由席」、「指定席」、「サッカー」、「Jリーグ」、「監督」、「選手」、「勝ち」、「負け」、「トイレ」、「ごみ」、「チケット」、「売る」、「買う」、「救護室」、「忘れ物」、「落とし物」、「地下鉄」、「バス」、以上です。

手話をやっていると、ボケ防止になります。聴覚障害者の方にボケの人はいません。指先を動かすことが、いいのでしょうか。せっかくですので、「指文字を覚えよう」の説明用紙をご覧ください。指文字をやりますので、自分の名前のところを覚えてください。「あ」、「い」(ここで電話が入る)1点入れました。(拍手)、「う」、「え」、「お」(以下50音順に指文字の指導があります)濁音はその文字の形を横に動かします。半濁音は、上に引き上げます。のばす時には、棒を上から下に引きます。指文字は片方の手でやります。覚えたい方は、歩きながら目に入る看板をかえてみるといいです。一回覚えると一生忘れません。離れた人と話す時にも役に立ちます。自己紹介ですが、「わたしの名前は」は、自分を指差し「わたし」です。「名前」は、片手を上に広げて他方の手の親指で広げた手のひらを押しします。「わたしの名前は」です。自分の名前を指文字で表します、そして「よろしく願います」は、「よい」握りこぶしを鼻の上において、「願います」は拝む形を作ります。最後に手話で自己紹介して終わらしましょう。泉田さんの場合は、「泉」5本指をつぼめてくるくるまわした形です。それに「田」を組み合わせます、たんぼの「田」です。「和雄」は指文字で「か」「ず」「お」と表しましょう。では、3、4人のグループで自己紹介をお互いにやってみてください。(お互いに実技)実際問題として、最初に聴覚障害者の方に会った場合は、「何ですか？」聞きますよね。「何」と「どうぞ」です。そうしたら、「口話でゆっくり話をする」「壁があったらそこに書いてみる」でやってみてください。

では、おまけにブーメランの作り方を簡単に説明します。厚紙か工作用紙を、12,5cm×2,5cmに切ります。3枚重ねて、真ん中から1cmくらいはさみを入れます。切ったところ同士をはめ込みます。ホチキスで紙が重ね合わさったところをとめます。そして羽根をひねります。これで出来上がりです。投げ方は、手首を使って上から投げます。(実技)(拍手)以上長々とありがとうございました。(拍手)

(文責:小野枝美子)